

ユニット型特別養護老人ホーム 久喜の里「陽日館」の由来及び意味

ゆい館

太陽と緑のあるお住まい、そして、大きくやわらかな日差し(日光)を受けられる館でありたい！

由来・・・福島県二本松に岳(だけ)温泉と言う観光温泉地があります。そのほど近くに

ゆいの里といわれる地域があり、そこは、山間の静かな田舎の村です。

そこでは、大変に地域の結びつきや地域での協力体制が昔のまま、強く残り、ひっそりと普通(ノーマライゼーション)の暮らしを営み続けています。

そして、そこでは、環境的に良い風土も重なり、高齢者の方々が大変にご長寿であります。全国平均でも高い平均寿命であるようです。

また、主に自給自足の生活が中心に暮らしています。太陽と緑が豊かでもしかも水と空気が大変きれいなところ、旧家では、昔の井戸を使用しているところが多いそうです。 **実在している地域場所から恩恵を授かりたく命名した経緯。**

皆さんに、ここ、久喜の里「陽日館」で、ご長寿・ご健康を維持しての生活ができますようにと、心からの願いと熱い思いを込めて「館」の名称をゆい館と名付けました。 **お迎えはあったかい心と安らぎの空間環境でもてなす介護**

そして、陽日館を書くとき、ひらがなで記しますと、「ゆい」=結いの文字となります。この結いには、様々な結びつきや固い結束をも表しています。

一つは、地域の結びつきであります(今ですと地域密着型特養であります)

その、地域との交流や協力支援体制がお互いにとても大切なことです。

二つ目は、居室にお住まいの方々の結びつきの大切さを願っています。

それは、個室(居室)で暮らしている利用者様も同じく交流を深めてユニット

での生活において、結びつきを深め、安心・安全と生きがいの持てる暮らし

を送りたいと、利用者様もサポートするスタッフも、心から希望していることで

しょう。昔からある結いを施設でも大切に考えて「ゆい」のある館にと思えます。

最後に、館の名前は、記述したこのような思いと、希望を願って名付けました。

後世に残したいほどの大きな意味のある名称でありますことをご理解下さい！

地域に根ざし、交流と助け合いのある施設でありたい！

施設長 小林 明